

議会だより

うちこ

vol. **41**

令和4年5月
発行

3,065万円
議会のようすを
みなさまへ

令和4年度予算

議会議場音響映像配信設備整備工事

【お父さんはどこ…。隠れちゃった】

モデル：橋本ファミリー

当号表紙撮影 下野 安彦議員



定例会

【議案】

報告・水道事業・郵便局の指定の取消し以外の議案は各委員会に付託され、審査及び採決後、最終日に議決されました。委員会での審査内容は6～9ページに掲載しています。

◆全会一致で可決・同意・受理された議案

報告

◎専決処分の報告について

社会資本整備総合交付金事業町道長田小学校線道路改良工事 (R2)、町道西横の地線道路改良工事 (R2)、町道滝山線道路改良工事 (R2) に係る工事請負変更

条例の改正

◎内子町職員の給与に関する条例、育児休業等に関する条例の一部改正 (総) 8 ページ

◎内子町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正 (総) 8 ページ

◎内子町国民健康保険税条例の一部改正 (総) 8 ページ

◎内子町水道事業の設置等に関する条例、水道事業給水条例の一部改正

◎内子町附属機関設置条例の一部改正 (産) 9 ページ

◎内子町内子高等学校小田分校生徒を収容する寄宿舎施設条例の一部改正 (総) 8 ページ

指定管理

◎内子町田舎生活体験宿泊施設、田渡地区交流宿泊施設の指定管理者の指定 (総) 8 ページ

補正予算

◎令和3年度内子町一般会計補正予算 (第12号) (予) 6 ページ ほか7補正予算

当初予算

◎令和4年度内子町一般会計予算 (予) 7 ページ ほか7当初予算

人事

◎内子町監査委員の選任

◎内子町教育委員会教育長の任命

発議

◎沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂をあらゆる埋立てに使用しないことを国に求める意見書

◎ロシアによるウクライナへの侵攻に断固抗議する決議

付託先	(総) 総務文教常任委員会 (産) 産業建設厚生常任委員会 (予) 予算決算常任委員会
-----	---

全会一致
可決・同意
・受理

沖縄戦戦没者の遺骨等が混入した土砂を埋立てに使用しないで!

内子町議会は、国会及び政府に対し、下記の事項を速やかに実現するよう強く要望しました。

① 沖縄戦の戦没者の遺骨等が混入した土砂をあらゆる埋立てに使用しないこと。

② 日本で唯一、住民を巻き込んだ苛烈な地上戦があった沖縄の事情に鑑み、戦没者の遺骨収集の推進に関する法律により、政府が主体となって戦没者の遺骨収集を実施すること。

ロシアへ断固抗議!

内子町議会は、ロシア軍による軍事行動を直ちに中止するとともに、無条件での即時撤退を求めるよう要請する決議をしました。

ロシアのプーチン政権のウクライナへの非人道的な軍事侵攻は、明らかに国連憲章に違反し断じて許すことはできない。これまでの攻撃により多数の民間人を含む多くの人命が奪われている。このような戦火の中で恐怖におののき涙する子どもたちのためにも一刻も早い終息を願うものである。

このような武力を背景にした一方的な現状変更は明白な国際法違反であり、国際秩序の根幹を揺るがすものである。また、ウクライナ国内の原発を攻撃したことは近隣諸国のみならず世界中の人々を不安に陥れる暴挙であり、核兵器の使用を示唆するなど到底看過できない。

ここに内子町議会は、ロシアに対し、強く抗議するとともに、ウクライナへの軍事行動を直ちに中止し、大国として、国際社会の平和と安全、秩序の構築に貢献するよう求めるものである。

政府においては、現地在留邦人の安全確保に努めるとともに、国際社会と緊密に連携しつつ、毅然たる態度でロシアに対してロシア軍の完全かつ無条件での即時撤退を求めるとともに、平和的解決に向け努力されるよう要請する。 以上、決議する。

臨時会・定例会

1月
臨時会

第123回臨時会が
1月14日に開催されました。

3月
定例会

第124回定例会が
3月4日から18日までの
15日間の会期で開催されました。



報告

◎専決処分の報告について

(第34号) 和田自治会館新築建築主体工事に係る工事請負変更 (全会一致で可決)

※既存の和田自治会館の基礎を

掘削を行った結果、現地の土質が

水はけの悪い粘性土であることが判明したため

透水性の良い土砂に置き換えることとし、9万

6千円の増額変更契約をした。



議案

◎令和3年度内子町一般会計補正予算 (第11号) について (全会一致で可決)

一般会計 補正予算 (第11号) 内容

歳入歳出それぞれ 2億9,435万2千円 追加 (予算額累計 111億7,849万円)

令和3年11月19日に閣議決定されたコロナ克服・新時代開拓のための経済対策の中に位置づけられ国の令和3年度補正予算 (第1号) が12月20日に成立したことを受け、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、さまざまな困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう住民税非課税世帯等に対して、1世帯当たり10万円の現金を給付する予算を計上。

4日

町長招集挨拶及び行政報告
一般質問 (4議員)

7日

一般質問 (2議員)
請願「沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂をあらゆる埋立てに使用しないことを国に求める意見書の提出についての請願」の産業建設厚生常任委員長の審査報告

議案提案

報告3件

条例の一部改正8件

指定管理者の指定2件

特定事務の指定取消し1件

補正予算8件

当初予算8件

議決 (3件)

議会広報常任委員会

総務文教常任委員会

産業建設厚生常任委員会

9日～11日

予算決算常任委員会

10日

全員協議会

18日

各委員長から審査報告
追加議案提案

内子町監査委員の選任

内子町教育委員会教育長の任命

発議

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂をあらゆる埋立てに使用しないことを国に求める意見書

ロシアによるウクライナへの侵攻に断固抗議する決議

議決 (28件)

「介護保険制度の改善を求める請願は、産業建設厚生常任委員会へ付託。

令和4年度 予算成立

「議会のようすをみなさまへ」
はコレだ!

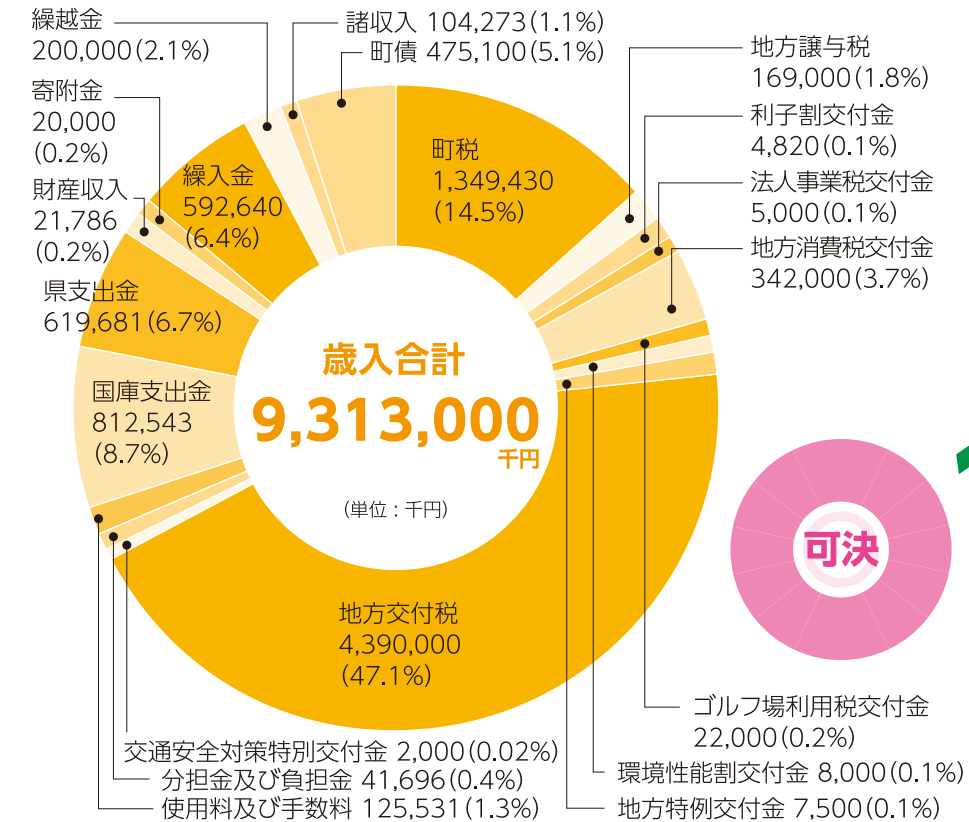
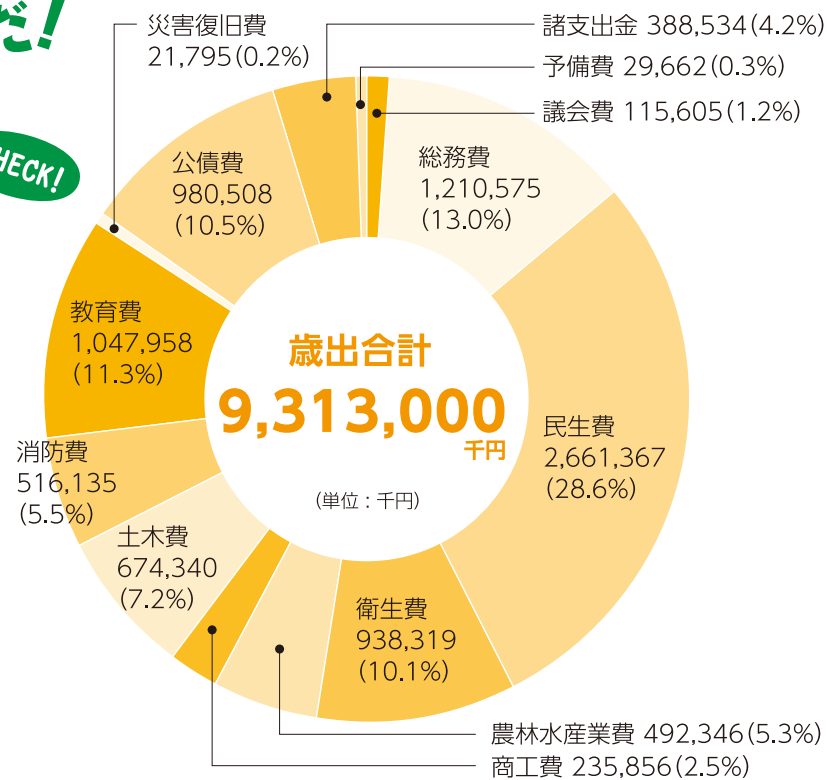
● 議会議場音響映像配信設備整備工事 3,065万円

開かれた議会を目指し、本庁・分庁・支所の
ロビーで議会のようすが生中継されます。

CHECK!

新規事業

● 小型動力ポンプ・積載車購入(立川2部・参川2部)	2,090万円
● 柿原自治会館工事設計委託	429万円
● 内子中学校武道場改修工事	1,291万円
● キャッシュレス決済プレミアム還元事業	1,850万円
● 自転車を活用した観光推進事業 e-BIKE購入費	374万円
● 新型コロナウイルス検査キット配布事業 抗原検査キット購入費	2,215万円
● 小・中学校大型提示装置整備事業	1,504万円
● 上町児童公園測量設計業務委託	238万円
● 新川児童公園測量設計委託・改修工事	3,000万円



● 一般会計

93億
1,300万円

対前年度比

5.8%
増

+5億800万円

可決

● 特別会計・公営企業会計予算

特別会計区分	令和4年度	前年度比較
国民健康保険事業	21億5,180万円	▲1,407万円
後期高齢者医療保険事業	2億7,491万円	2,356万円
介護保険事業	27億3,572万円	9,672万円
介護保険サービス事業	1,348万円	▲115万円
内子高等学校小田分校寄宿舎	2,602万円	1,057万円
合 計	52億193万円	1億1,563万円

水道事業会計	令和4年度	前年度比較
収益的収支	収 入	4億3,903万円 ▲966万円
	支 出	4億1,415万円 ▲892万円
資本的収支	収 入	4億1,951万円 2億4,210万円
	支 出	5億1,532万円 2億4,426万円

下水道事業会計	令和4年度	前年度比較
収益的収支	収 入	2億9,987万円 3,133万円
	支 出	2億9,987万円 3,133万円
資本的収支	収 入	1億3,822万円 233万円
	支 出	1億9,468万円 78万円

● 各会計の説明

国民健康保険事業特別会計

国民健康保険の加入者が安心して医療が受けられるための予算。

後期高齢者医療保険事業特別会計

75歳以上の高齢者が安心して医療が受けられるための予算。

介護保険事業特別会計

介護保健サービス事業特別会計

介護や介護予防を必要とする人が安心して生活を送れるよう、総合的な介護サービスを行うために使われる予算。

内子高等学校小田分校寄宿舎特別会計

小田分校の寄宿舎に生徒を受け入れるための予算。

水道事業会計

日常生活に欠かせない生活用水を安全供給するための予算。

下水道事業会計

下水を処理するための予算。

● 歳入の語句説明

地方交付税	自治体運営の均衡を保つため、国税(所得税、法人税、酒税等)の一部から配分されるお金
町 税	町民が納める税金(町民税、固定資産税、軽自動車税等)
繰 入 金	町の貯金を下ろして使うお金、他会計や基金から取り入れる資金
国・県支出金	決まった目的に使うため、その費用の全部又は一部が国や県から交付されるお金
町 債	町が事業を行うために借り入れるお金
地方譲与税	国税として徴収した特定の税目の収入を一定の基準に基づいて町に譲与するお金

● 歳出の語句説明

総 務 費	庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙、統計などの経費
民 生 費	障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、保育園などの経費
教 育 費	学校教育、生涯学習の充実、文化・スポーツの振興などの経費
衛 生 費	健康増進、疾病予防、環境保全、清掃費などの経費
土 木 費	道路、河川、公園など社会資本基盤整備などの経費
農林水産業費	農林水産業の振興を図るための支援や生産基盤整備などの経費

小田深山を歩きやすく

◎令和3年度内子町 一般会計補正予算(第12号)

一般会計補正予算の主な内容は各事業において、事業確定による増減で、審査は、予算の根拠、どのような効果が期待できるかといったことに着目しています。

総務費

問 ふるさと納税の具体的な活用は。

答 総務課

こども医療費の無償化、うちこ子育て応援事業、自治会の地域づくり事業に充てている。

問 集会所の改修費の補助が出るところと出ないところがある理由は。

答 総務課

町設置の集会所は補助対象で、地域で自主的に建てられた地域所有の集会所においては、材料支給などの対応としている。



地元で管理している
論田三区集会所

民生費

問 高齢者福祉施設における新型コロナウイルス感染症検査費用の補助減額の理由は。

答 保健福祉課

補助事業は申請手続きが煩雑で、検査は国が認めた医療機関で行うことになり高額になることから利用が進まなかったと考えられる。新規入居者分については、減額しないで事故繰越として確保している。

農林水産業費

問 川鵜が増え放流鮎を食べるので対策はできないか。

答 農林振興課

ゴルフ場に住处があり専門家に検討してもらったが、追いつても小田川、中山川で鮎を食べることは変わらず、対策は難しい。

商工費

問 小田深山溪谷遊歩道整備工事は集約的に行う方が経費的、能率的にも有効と思うが検討のうか。

答 小田支所

補助を有効利用したい観点もあり優先順位と集約的に行うことを検討していく。



小田深山溪谷遊歩道

◎令和3年度内子町 国民健康保険事業 特別会計 補正予算(第3号)

問 保険給付等交付金が1億3000万円ほど減額されるのは、コロナによる受診控えが要因か。

答 住民課

あくまでも予算額に対してであり、医療費は昨年度同等レベルと見込んでいる。

◎令和3年度内子町 水道事業会計 補正予算(第3号)

問 水道使用量の収益が減少している要因は。

答 上下水道対策班

契約件数は増えているが、人口減少が進み使用量が減っているのが一番の要因である。

総務費

問 高齢者運転免許証自主返納支援に給油助成券があるのはなぜか。

答 総務課

現在の支援は、デマンドバスなどの利用チケットとしているが、実績を分析したところ使用が少なく、家族の車による移動が多かったことがわかったため、給油チケットとの選択制にして返納を促したい。

民生費

問 4月から不妊治療が保険適用となるが、町として支援を考えていないのか。

答 保健福祉課

特定不妊治療については窓口負担分や検査費用が高額になるという点も聞いており、検討しているとのこと。

衛生費

**再生可能エネルギー導入
目標策定支援業務委託**

問 太陽光だけではなく、地域の特性に合った再生可能エネルギーも検討してほしい。

答 環境政策室

内子町として、脱炭素化へ向けてしっかりと計画を作っていきたい。

農林水産業費

問 町内のたばこ耕作が激減したが、その後の農地利用について教えてほしい。

答 農林振興課

たばこ耕作の農地はパイロット団地が主のため、農業法人からの借地の要望が多いようだ。また、新たな農業振興のため、農林業施設整備事業補助を昨年度に比べ2,500万円増額要求している。

商工費

キャッシュレス決済還元事業

問 この事業は商工会や該当事業者からの要望もあって制度設計したのか。

答 町並・地域振興課

内子町商工会と相談をして計画した。(事業実施期間終了後、検証結果を議会にも報告してほしいと要望)

内子晩餐会補助

問 地元で飲食店をやっている料理人や若い後継者が一緒にかわっているのか。

答 町並・地域振興課

町内の料理人を育てたり、町産品を使ったりする方向で実施し、晩餐会を成功に導きたい。



内子座で実施予定

教育費

問 内子高等学校小田分校の新設する寮は、木造ではないのか。

答 学校教育課

町産材の木造建築が理想ではあるが、来年度の生徒募集に対応するために、工期が早くしかも建設費が平準化される方法として提案している。



小田分校寮建設予定地

◎令和4年度内子町 介護保険事業特別会計予算

問 ケアマネージャーが不足していると聞くが。

答 保健福祉課

資格を持っている方がケアマネ業務につきたくないという状況があり、支援を国に要望していきたい。

委員会での採決の結果は、原案のとおり

可決

どうする家庭ごみ!? 検討委員会設置

委員会での採決の結果は、原案のとおり

可決

CHECK!

5R推進委員とは

5つのR（リフューズ：ごみになるものを断ること。リデュース：ごみを減らすこと。リユース：再利用すること。リペア：修理して使うこと。リサイクル：資源を循環させ再生させること。）やごみの分別のルールなどを協議する委員。

問 今後の計画が10年間で終了するので、改定をするというのだが、これまでの計画に対する検証はしたのか。

答 環境政策室 10年間、これまでの実績を評価、検討し、新しく5年後のものを見直していく。

問 町民代表者の方、地区代表者の方、内子町が進めている5R推進委員会の方を予定している。

答 環境政策室 町民代表者の方、地区代表者の方、内子町が進めている5R推進委員会の方を予定している。

問 内子町一般廃棄物処理基本計画の改正に伴い、内子町一般廃棄物処理基本計画検討委員会を設置するため、内子町附属機関設置条例の一部を改正する。

答 定数を12名以内として、任期を「当該計画に関する事項の調査審議が終了するまでの期間」とする。

問 どういうメンバーで構成するのか。

産業建設厚生常任委員会

待ってます。町民アンケート

★活動報告
令和4年議会改革特別委員会を3月18日に開催し、議員定数や議員報酬の見直しに向けて、町民のみなさんの意見を幅広く聞くための方法をテーマに、前号の議会だよりでも告知した「住民意見交換会、自治会との意見交換会、ホームページでのアンケート調査などについて、時期や手法、アンケートフォームの作成について検討しました。」

CHECK!

内子町ホームページ → 議会事務局 → 議会情報
【実施目的】住民との意見交換会や条例改正の参考資料とします。
【実施期間】4月1日～5月31日
【入力方式】選択式
※スマートフォンからも回答できますので、QRコードをご利用ください。



内子町議会議員報酬・議員定数についての町民アンケート実施
内子町ホームページから回答してください

議会改革特別委員会

委員会での採決の結果は、原案のとおり

可決

田渡にお遍路宿

総務文教常任委員会

内子町職員の子育休休業等に関する条例の一部を改正する条例について

非常勤職員の育児休業の取得要件を緩和し、職員の妊娠・出産・育児と仕事の両立を促進するため、条例の一部を改正する。

問 非常勤職員とは会計年度任用職員を指すのか。

答 総務課 働いた期間が1年未満の会計年度任用職員についても、取得できるように改正する。

内子町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について

消防団員の処遇改善のため条例の一部を改正する。

問 災害時に出勤した場合4時間未満で4千円支給されるが、同様の時間でも夏季訓練では1500円となる理由は。

答 総務課 報酬の単価の決め方は、危険性などを考慮して設定している。

内子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

内子町国民健康保険運営協議会の答申を受け、国民健康保険税率の改定を行うため、条例の一部を改正する。

問 国保税の負担が増える中、子育て支援の視点から、子どもの均等割に何らかの措置ができないか。

答 副町長 健全な国保財政の維持が第一であるが、総合的に考え、検討していきたい。

内子町内子高等学校小田分校生徒を収容する寄宿舎施設条例の一部を改正する条例について

利用生徒の増加による寮の増設及び寮費の値上げ等に伴い、条例の一部を改正するもの。

問 第4寮整備のため中学校の教職員が寮の教職員住宅に入居することになるが、その使用料について県に免除の要請はしたのか。

答 学校教育課 正式に決まったら、お願いしていきたい。

内子町田渡地区交流宿泊施設の指定管理者の指定について

2月9日に開催した公の施設指定管理者選定委員会の審査結果報告に基づき、指定管理者の指定につき、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を求める。

問 指定管理者の代表である自治会長が、改選により変更になった場合の対応は。

答 自治・学習課 母体となる指定管理者は変わらず、代表者の変更の手続きを取っていききたい。



完成した内子町交流宿泊施設



小田分校 第4寮

町政を問う！

内子町ホームページ
「議会事務局」



【質問通告書内容】

下野 安彦 議員

- ◎かかりつけ医を含む医療体制について
- ◎水道使用料検針にスマートメーター導入の考えはどうか

久保 美博 議員

- ◎老朽化する水道施設について
- ◎キャンプ人気急上昇について

塩川まゆみ 議員

- ◎原子力災害対策について
- ◎愛媛県ごみ処理施設広域化・集約化計画について
- ◎今後の観光振興事業について

城戸 司 議員

- ◎アルコールチェックの義務化について
- ◎新型コロナウイルス感染者の支援について

関根 律之 議員

- ◎コロナ禍での健康維持・増進
- ◎少子化に合わせたスクールバスの運行について
- ◎就学援助制度について
- ◎空き家の活用促進と移住・定住支援策

向井 一富 議員

- ◎デジタル行政について
- ◎コロナワクチン接種について
- ◎環境行政について
- ◎中学生の制服について



13ページ

14ページ

15ページ

16ページ

17ページ

18ページ

当記事では「一般質問」の質疑内容について、誌面スペースの都合上一部抜粋となっています。各議員の質問項目については《質問通告書の内容》のとおりです。
議会での質問並びに答弁の全文を知りたい方は、下記内子町ホームページ「内子町議会」〔会議録〕のページをご覧ください。
※会議録のホームページ掲載は「議会だよりうちこ」発行から約2ヶ月後となります。ご了承ください。

<https://www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/16/>

かかりつけ医はどうなる



下野 安彦 議員

問 町内のかかりつけ医の現状把握と、医師数の推移をどう捉えているか。

答 保健福祉課長

病院1、診療所11、歯科診療所8施設で、個人病院の先生の平均年齢は65歳である。10年後を考えると、後継者がいない医療機関は存続が難しくなるケースがありつとを考えている。

問 医師不足による学校医への影響は考えてないか。

答 学校教育課長

現在も複数学校を1人の医師が携わっているという現状であり、複数又は学校掛け持ちをしていただくということになると思う。学校医の確保については、具体的には考えてない。



今日はなんぼかな？

問 町民の生命を守り、安心して子育てや出産ができる地方の医療体制構築にむけ、近隣自治体との連携や国、政府への政策要望について町長はどう考えているか。

答 町長

大洲・喜多医療圏域での二次救急病院における常勤医師は、60歳未満が61%、60歳以上が39%となっており、70歳以上の医師も15%である。地方の現状を訴え、医師確保、小児科、産科医師の確保など、医療体制の構築に向け施策の推進について関係者と連携を図りながら強く要請を行っていると考えている。

「水道使用料検針にスマートメーター導入」

問 電気、水道等のスマートメーターのメリットやデメリット、コスト面の試算は。

答 建設デザイン課長

メリットは、正確な検針、個人の敷地に立ち入らない安全・安心な検針、天候や休日に関わらず安定した検針ができ、日々の使用水量データの提供や宅内漏水の早期発見等が可能となる。ライフラインを活用した見守りサービスも可能となる。
デメリットは、機器類の価格、交換にかかるコストが高い。メーターの設置場所によっては電波の状況により、長期的に正確なデータが得られるかなどの懸念材料もある。総コストを比較すると、今の方法の約3倍の経費がかかってくるという試算結果を得ている。

問 漏水の早期発見やデータ受信により、高齢の家族の「見守り」のメリットもある。導入や実証実験の考えは。



今月の使用量は？

答 建設デザイン課長
小田地区の施設統合事業の浄水場や配水池の完了目標年度である令和8年度以降、順次スマートメーターに切り換えていけるよう、実証実験なども含め検討する。

問 国からの指針や補助はどうか。

答 上下水道対策班長

電力は令和5年度にスマートメーターに切り換えることになっている。水道事業者も順次なっていくと思う。交換費用は水道料金の中での対応となる。

老朽化する水道施設どう対処する



久保 美博 議員

【高度経済成長長期に整備された水道管】

問 法定耐用年数（40年）を超える水道管の割合（管路経年化率）は20年度で全体の何％か、また、同年度に更新された水道管の割合（管路更新率）はどのようになっているのか。

答 建設デザイン課長
管路経年化率は、全管路の16・6％で、愛媛県全体の平均が15・8％となっている。また、令和2年度に更新された管路更新率は0・38％で、全国平均0・44％とほぼ同水準となっている。

問 想定される最大規模の地震に耐えられる割合を示す「耐震適合率」は。

答 建設デザイン課長
令和2年度現在、耐震適合率は基幹管路で31・1％、配水支管を含む全管路で18・2％であり、愛媛県全体の平均が基幹管路で32・6％となっており、県とほぼ同じ水準である。

問 老朽化への対応が遅れている背景に何があると考えているのか。

答 建設デザイン課長
低い水準となっている水道普及率の向上を目指し、未普及地域の解消を目的とした整備を優先したことが最大の背景と考えている。また、財源的にも事業を補うための国からの補助金が最大、事業費の40％と低率であり、県補助金は現在廃止されており厳しい状況下にある。今後は内子町水道ビジョン・経営戦略及び水道施設耐震化計画に基づき、健全運営を確保しつつ計画的に耐震化や老朽化対策を進めながら、水道の安定供給に努めたいと考えている。

問 水道事業は今後、少子高齢化が一段と進むことで厳しい時期を迎えると思う。水の需要は減少して料金

収入も減り、水道事業の赤字転落の予想はしているのか。

答 建設デザイン課長
中期的にシミュレーションを行い、今後、運営また計画事業を進めていく中で、年々という推移をするか検証しており、水道料金の議論もしないといけない時期が来るが、現在はシミュレーション結果に基づき取り組みたい。

【キャンプ人気急上昇】

問 新型コロナウイルス禍の中で、屋外で3密にならないレジャーとしてキャンプの人气が急上昇している。廃校になった施設を利用し手軽にキャンプを楽しめるキャンプ場に改修し取り組む考えはないか。

答 自治・学習課長
近隣住民や地域の理解と協力が不可欠であり、特に食事や暖を取るために使う火気について十分な配慮や設備が必要になることが予想され、廃校をキャンプ場として活用する考えはない。

問 冬でもテント泊を楽しむ人が増えている。町内でも週末には小田川河川敷に多くの人が訪れ、雨さえ降らなければ寒い中でも利用されている。気軽に利用できるキャンプ場として整備する考えはないか。

答 建設デザイン課長
近年の地球温暖化に伴う集中豪雨の多発により洪水が発生する頻度も高まり、利用者の安全面の問題や土砂の流入による施設被害が懸念され、管理面におけるリスクが高いことから整備箇所としては不適と考えている。河川敷は河川法が適用される区域であり、河川管理者の許可が必要となり新たな施設の整備は許可が得られないと考えている。河川敷は住民共有の公用物として、キャンプ以外の様々な用途に利用されており、一部をキャンプ場として占有するのではなく、小田川沿いで見られるスタイルでキャンプを楽しんでいただきたい。河川敷にキャンプ場を整備する考えはないが、キャンプでの利用者も含め、誰もが河川と親しめるように河川敷の維持管理に努めていく。



小田川河川敷でキャンプを楽しむ家族連れ

すでにあるコンテンツを活用する方が先



塩川 まゆみ 議員

【原子力災害対策】

問 地震と原発の複合災害となった東日本大震災をどうとらえているか。

答 町長
自然災害は、防災・減災対策を行い共存するしかない。原発事故によって安全神話は崩れ去り、原子力政策を見直す契機となった。再生可能エネルギーの拡大などを図りながら、原発への依存度を限りなく低減していく必要がある。

問 UPZ（半径30km）圏外となるが35kmから40km圏内に町民の8割が居住している。避難計画及び訓練は。

答 総務課長
40km圏内を2次、50kmを3次避難

地区としている。2次、3次地区の訓練については今後県と協議したい。

問 計画には「ヨウ素剤の事前配布も含めた手順の検討」とあるが。

答 総務課長
全町民分を分散配備し、適正に管理している。紛失等の恐れがあるので事前配布はしていない。

問 去年10月実施の県防災訓練については「住民が実効性に懸念」との新聞報道もあったが。

答 総務課長
広域で連携して、実効性が担保できるような体制を整備していきたい。

【愛媛県ごみ処理施設広域化計画】

問 県は令和4年からごみ焼却施設の集約化計画を策定する。内子町フリンセンターの現状は。

収入も減り、水道事業の赤字転落の予想はしているのか。

答 建設デザイン課長
中期的にシミュレーションを行い、今後、運営また計画事業を進めていく中で、年々という推移をするか検証しており、水道料金の議論もしないといけない時期が来るが、現在はシミュレーション結果に基づき取り組みたい。

【キャンプ人気急上昇】

問 新型コロナウイルス禍の中で、屋外で3密にならないレジャーとしてキャンプの人气が急上昇している。廃校になった施設を利用し手軽にキャンプを楽しめるキャンプ場に改修し取り組む考えはないか。

答 自治・学習課長
近隣住民や地域の理解と協力が不可欠であり、特に食事や暖を取るために使う火気について十分な配慮や設備が必要になることが予想され、廃校をキャンプ場として活用する考えはない。

問 冬でもテント泊を楽しむ人が増えている。町内でも週末には小田川河川敷に多くの人が訪れ、雨さえ降らなければ寒い中でも利用されている。気軽に利用できるキャンプ場として整備する考えはないか。

答 建設デザイン課長
近年の地球温暖化に伴う集中豪雨の多発により洪水が発生する頻度も高まり、利用者の安全面の問題や土砂の流入による施設被害が懸念され、管理面におけるリスクが高いことから整備箇所としては不適と考えている。河川敷は河川法が適用される区域であり、河川管理者の許可が必要となり新たな施設の整備は許可が得られないと考えている。河川敷は住民共有の公用物として、キャンプ以外の様々な用途に利用されており、一部をキャンプ場として占有するのではなく、小田川沿いで見られるスタイルでキャンプを楽しんでいただきたい。河川敷にキャンプ場を整備する考えはないが、キャンプでの利用者も含め、誰もが河川と親しめるように河川敷の維持管理に努めていく。



小田川河川敷でキャンプを楽しむ家族連れ

問 「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTD）」を活用しては。

答 商工観光班長
まず入門編の「TOP100選」へのエントリーを検討したい。

問 「魅力発信事業」として新たなPR動画等を作成する前に、既存のコンテンツを十分に発信しては。また、社会情勢や町の平均所得等の観点から観光協会事務局長の報酬800万円は適正ではないと考えるが。

答 商工観光班長
事業の目的等を考えると適切な金額と考える。

答 町長
実績のある方にしっかり仕事をしてもらおう。情報の発信力向上についてはしっかりと取り組んでいく。



いい動画もたくさんあります！

飲酒運転ゼロの町に



城戸 司 議員

【しない・させない！飲酒運転】

問 令和3年6月の千葉県八街市で、下校中の児童2名が亡くなる事故があり、今年の4月より安全運転管理者の業務として、運転者の酒気帯びの有無の記録が義務化されましたが、どのように検査等をするのか。

答 総務課長

道路交通法施行規則の一部改正により、令和4年4月から安全運転管理者の業務が拡充されることとなり、酒気帯びの有無の確認及びその記録と保存が義務化された。町においては、公用車を使用する際に、公用車運転日報をそれぞれの車両について記録すること、また運転前にアルコールチェッカーによりチェックを行い、運転できる状態であること確認してから公用車を使用することとしている。

問 日報だと事後確認になるのか。

答 総務課長

運転する前に、安全運転管理者だけで行うことは非常に難しいと思うので、各課長等の管理職が、運転者のアルコールチェックを対面で確認することで、公用車を運転する。帰ってきた後にもなお確認をするといった手順で行いたいと思っている。

問 町の管理する施設のアルコールチェックは担当課長が出向くのか。

答 総務課長

今回の法改正は安全運転管理者の業務の拡充ということなので、安全運転管理者を設置されている部署が対象と考えている。

問 100%アルコールチェックをできるとは思えないが問題はないか。

答 総務課長

今回の法令上の問題としては、安全運転管理者の設置しているところだが、同じ町職員なので、やり方はまた検討しなければいけない。全職員が飲酒運転を行わない、酒気帯び運転を行わない、そういったところ

は徹底していきたい。万一、職員に酒気帯びが確認された場合には、本人から事情を聞き取り、直ちに運転を禁止するとともに、業務に支障が生じると判断した場合には、休暇の取得や帰宅を促すなど、その時々状況に応じて適切な対応を取ってきたい。



アルコールチェックの様子
飲んでなくても緊張します

【最小限の情報でも支援をして！】

問 前回、第6波では保健所と連絡を密にとり、きめ細やかな対応ができるように連携をとっていききたいとの答弁だったが、八幡浜保健所に連絡をしたか。

答 保健福祉課長

保健所へ連絡を取り、陽性者から支援の要望がないか確認を行ったが、陽性者から町への支援は求められていないとの回答があった。陽性者などが町の支援を希望した場合、食事の手配、買い物支援など、可能な範囲で支援を行っていききたい。

問 感染拡大を防ぎつつも、経済を回すことが大切であると言われるが、愛顔の安心飲食店認証制度店の積極的な利用等を発信してはどうか。

答 商工観光班長

店舗名は愛媛県のホームページ等で公開されている。また、各店舗には認証ステッカーを店舗入り口に表示されており、利用者にとってもこの認証店は飲食等を行う上で安心して利用できるものとなっており、内子町においても認証店の利用は推奨すべきものと考えている。現在、町民に広くPRするため、内子町のホームページでも認証店情報を発信している。



ホームページはここから

就学援助、空き家の有効活用は



関根 律之 議員

【コロナ禍での健康維持・増進は】

問 自治会等の行事や施設利用にあり、換気が十分に行われているかを確認できるCO₂メーターを自治センター等から借りて使用できると聞いているが、より積極的に使用するよう働きかけられないか。

答 保健福祉課長

自治会連絡会など、さまざまな機会にCO₂メーターの貸し出しができることを通知していきたい。



換気の具合を測定できる
CO₂メーター

問 生活機能の低下が比較的軽い方が対象の介護予防教室を、住民がもっと参加しやすくなるような広報はできないか。また、特に独居の高齢者が孤独にならないために、民生委員を通じて参加の呼びかけは。

答 保健福祉課長

広報誌等を通じて周知はしているが、あらためてさまざまな機会でお知らせしたい。また、民生委員や見守り推進委員の活動を充実させ、お年寄りの引きこもりへの支援を行っていききたい。

【就学援助制度の周知は】

問 就学援助認定率が、令和3年度7・4%と全国平均の半分程度と低いことをどのようにとらえているか。

答 学校教育課長

認定基準は市町が定めることになっており、認定率にはばらつきがある。認定には申請が必要だが、権利を行使しないという選択肢はある。ただし、制度を知らなかったというのは避けなければならぬので、今後もさらなる周知に努めたい。

問 宇和島市などは住民税非課税の要件だけで就学援助の対象としているが、内子町では収入基準を追加して設けているのはなぜか。また、小中学生の子どもがいる世帯のうち、住民税非課税世帯の割合は。

答 学校教育課長

認定基準は各市町で異なる。今後、県内市町の状況等を踏まえ、要件の変更について調査研究したい。住民税非課税世帯の割合は9・4%。

問 判定基準が所得ではなく収入になっている。自営業者はどのように判定するのか。

答 教育長

申告書の写しや付随する決算書、収支内訳書などで収入と所得を確認する。新年度からは、認定基準を収入から所得に変更し、合理的に判断、認定できるよう見直しを行う。

問 今の制度の案内文では、申請しにくい気持ちになり、あきらめてしまいう方が多いのでは。

答 保健福祉課長

保健所へ連絡を取り、陽性者から支援の要望がないか確認を行ったが、陽性者から町への支援は求められていないとの回答があった。陽性者などが町の支援を希望した場合、食事の手配、買い物支援など、可能な範囲で支援を行っていききたい。

問 感染拡大を防ぎつつも、経済を回すことが大切であると言われるが、愛顔の安心飲食店認証制度店の積極的な利用等を発信してはどうか。

答 商工観光班長

店舗名は愛媛県のホームページ等で公開されている。また、各店舗には認証ステッカーを店舗入り口に表示されており、利用者にとってもこの認証店は飲食等を行う上で安心して利用できるものとなっており、内子町においても認証店の利用は推奨すべきものと考えている。現在、町民に広くPRするため、内子町のホームページでも認証店情報を発信している。



ホームページはここから

答 教育長

周知方法や内容は、他市町の取り組みを参考に改善していきたい。

【空き家の活用促進と移住・定住支援】

問 町の空き家バンクの登録数は低調だ。移住者住宅改修支援事業の補助対象者を、移住者に限定せず空き家所有者にも広げられないか。改修費用は所有者が負担し、家賃に上乗せすることで移住者が当地になじむ精神的負担や経済負担を和らげることができないのでは。

答 総務課長

本事業は愛媛県が制度設計を行っており、制度変更には県の要綱を改正する必要がある。以前、県に要望したが、事業趣旨に合わないとの回答があった。

問 空き家の有効活用が、所有者にとってもメリットがあることを明確にし、所有者向けにパンフレット等を作ってアプローチを強化しては。

答 総務課長

空き家所有者向けのチラシを作成し、移住コーディネーターとも連携して、さらなる空き家活用と移住・定住促進に取り組みたい。

誰一人取り残さない町づくりに向けて



向井 一富 議員

【デジタル行政】

問 自治体DX推進計画の策定は。

答 総務課長

現在、策定していないが、愛媛県がデジタル総合戦略を計画しており、町として県の計画に沿った事業を実施し、その中で、町独自の取り組みが出てきた場合には、検討していきたい。

問 デジタル田園都市国家構想とは。

答 総務課長

デジタル実装を通じて地方が抱える課題を解決し、誰一人取り残されず、すべての人がデジタル化のメリットを享受できる、心豊かな暮らしを実現する構想である。

問 軽自動車税種別割納税証明書の電子化は。

答 税務課長

令和5年1月からの稼働に向け、軽自動車検査協会の検査窓口において、納税情報を電子的に確認でき、紙の納税証明書の提示を省略するよう進めている。

【コロナワクチン接種】

問 内子町でコロナワクチン接種による重篤な副反応事例はあるか。

答 保健福祉課長

内子町においては無いが、全国的には若干名いる。救済制度については、国の審議会によって予防接種との因果関係を確定し、予防接種健康被害救済制度を適用する場合もある。

問 内子町での12歳から18歳までの年代別ワクチン接種率と、小児ワクチン接種の予定は。

答 保健福祉課長

令和4年3月1日現在で、2回の

接種率は、12歳で45・2%、13歳が70・1%、14歳が69・9%、15歳が70・6%、17歳が87・3%、18歳が78・6%である。
小児向けワクチン接種は、3月13日より、加戸病院の特設会場において集団接種を実施するが、その後、令和4年9月30日までは、希望児には接種できる体制を継続していく。

【環境行政】

問 全国でゼロカーボンシティ宣言をする自治体があるか。

答 環境政策室長

再エネの導入にかかるポテンシャル調査を行い、脱炭素の実現に向けた道筋を描いた上で、ゼロカーボンシティ宣言へつなげていきたいと考えている。

問 内子町再生可能エネルギー発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例はあるか。

議会の主な活動

2月

18日 全員協議会
議会改革特別委員会
議会運営委員会

3月

4日～18日 内子町議会3月定例会
7日 議会広報常任委員会
8日 総務文教常任委員会
産業建設厚生常任委員会
9日～11日 予算決算常任委員会
11日 全員協議会
18日 議会改革特別委員会
25日 内子町議会議員研修会
30日 議会広報常任委員会
愛媛県市町振興協会評議員会(松山市)〈議長〉
愛媛県町村議会議長会定期総会(松山市)〈議長〉

4月

12日 議会広報常任委員会
15日 産業建設厚生常任委員会
全員協議会
議会改革特別委員会

報告

内子町議会議員研修会



私たちが目指す世界を伝える堀江由美子さん



研修会の様子

議会事務局長
お疲れ様でした



林 純司議会事務局長

平成29年4月1日～令和4年3月31日までの5年間、内子町議会事務局長として勤務されました。

お詫びと訂正

令和4年2月発行(第40号)の表紙に間違いがありました。正しくは右記のとおりです。お詫びして訂正いたします。

(正) 宮岡実輝さん
(誤) 宮岡美輝さん



極寒の中学生の通学風景

【中学校の制服】

問 中学生の制服のスラックスやスカートなどを自由に選べる自由選択制を取り組んでどうか。

答 教育長

来年度から選択制になる学校や、来年度中に予定している学校もある。このことは、ズボンを選択することによる「動きやすさ」や「防寒対策」はもちろんのこと、近年社会的関心の高い「性的マイノリティ」に対する配慮や支援の側面からも、学校のみならず社会全体の流れだと考える。

答 環境政策室長
現在のところはないが、今後策定予定である。

VOICE

～みなさまのこえ～

新 有権者の声

よりよい世の中にするために

内子高等学校小田分校 3年 岡田 知優^{ちひろ}

私は次の誕生日で18歳となり、有権者になります。少し前までは選挙や政治についてのニュースなどをしっかりと見ておらず、選挙がどのように行われているのかも分かっていませんでした。クラスメイトも選挙は遠い存在と思っている人が多かったように思います。しかし、高校の授業で選挙について詳しく学んでいく中で、少しずつ関心を持つようになりました。新聞で選挙についての記事が載っているときには読んでみたり、ニュースを詳しく見たりして少しずつ有権者になるという自覚が芽生えてきました。

より良い世の中にしていくためには、私たちが積極的に政治に興味を持ち、選挙に参加することが必要だと思います。選挙は自分たちの意見を政治に反映できる数少ない手段です。よく分からないから投票しないのではなく、正しい知識を身に付け、投票できるように準備しておきたいです。そして、自らの一票に責任を持ち投票したいです。今後、政治について真剣に考える若者が増え、より多くの人が選挙を通して政治に参加できる世の中になって欲しいと思います。

【議会だより】町民のみなさんより貴重なご意見が届いています。

議場見学等、子どもに経験させるのは良いことだと思う。
(40代 男性)



現在は町内の小学生だけが対象ですが、今後は中学生や高校生にも対象を広げていきたいと考えています。また「子ども議会」など、議会活動への理解が深まるような取り組みも検討中です。

議員研修というのは、何をされるのでしょうか？
(50代 女性)



「議員の資質向上と政策立案能力の向上」を目指して、先進的な取り組みをしている全国の自治体などの視察、セミナーや学習会などに参加したりします。コロナの影響でここ2年は視察研修を実施できていませんが、講師を内子町に招いての学習会やオンライン研修を実施しています。

募集中

「議会」・「議会だよりうちこ」にご意見をお寄せください。また、「議会だよりうちこ」に掲載する季節行事や風景などの写真も募集しています。右記アドレスへ送付してください。

ご利用ください！
【QRコード】
内子町ホームページ「議会事務局」へつながります。



議長のスケジュールと
交際費を掲載開始！

議会事務局メールアドレス
gikaijimukyoku@town.uchiko.ehime.jp



編集後記

後から振り返れば世界史的にも激動の時代と呼ばれるのかもしれませんが、今、内子で暮らす私の生活は平和そのもの…かたじけなさに涙こぼれる心地です。日々の暮らしのありがたさを噛みしめ、身近な人たちを大切に、愛と感謝で生きていきたいものです。

(塩川 まゆみ)

【議会広報常任委員会】

委員長／関根 律之
副委員長／下野 安彦
委員／大木 雄
委員／向井 一富
委員／塩川まゆみ
委員／城戸 司

次の定例会は **6月8日(水)** 開会予定です。